

号外

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2014年(平成26年)

1月24日(金)

発行所 琉球新報社
郵便番号 〒900-8525
那覇市天久905番地
©琉球新報社2014年

沖尚 センバツ決定

2年連続 6度目



2年連続出場に向け健闘を誓う沖尚ライン=2013年12月3日、八重瀬町の尚学ボールパーク

美里工と同時出場

第86回選抜高校野球大会(3月21日から12日間・甲子園)の出場校を決める選考委員会が24日、毎日新聞大阪本社で開かれ、沖繩尚学と美里工が出場32校に名を連ねた。沖尚は2年連続6度目の出場で、3季連続の甲子園切符をつかんだ。美里工は学校創立48年目で初めて甲子園の土を踏む。県勢の2校出場は、興南と嘉手納が出場して興南が優勝した2010年春以来、4年ぶり2度目。

沖尚と美里工は昨年の県秋季大会決勝で対戦、続く九州大会でも初の県勢決勝対決を実現した。沖尚は県大会では準優勝だったが、続く九州大会で雪辱し、秋の九州2連覇を達成。さらに全国10地区の代表校が集う明治神宮大会でも快進撃を見せ、決勝は六回まで0-8の劣勢をひっくり返す圧巻の逆転劇で県勢初の頂点に立った。

美里工は県秋季大会決勝で沖尚を延長戦の末に3-0で破って21年ぶりの優勝を飾った。九州大会は最後に1点差で涙をのんだが、初戦、準々決勝を1-0で勝ち抜いた投手力や活発な打線など、総合力の高さを印象付けた。

選抜大会には秋季地区大会の成績を基にした一般選考29校(九州地区の神宮大会枠1を含む)と21世紀枠3校が出場。組み合わせ抽選会は3月14日に行う。

美里工 センバツへ

初の甲子園に闘志



選抜出場に向け気勢を上げる美里工ナイン＝2013年12月11日、沖縄市泡瀬の同校グラウンド

県勢2校出場 4年ぶり

沖尚 学校沿革

美里工 学校沿革

◆沖繩尚学高校(那覇市国場747) 1957(昭和32)年に開校した嘉数学園沖繩高校が前身で、83年に沖繩尚学高校として新たにスタートした。86年には付属中学校を設立、91年に嘉数学園から分離独立して学校法人尚学学園となった。高校は2001年からコース制を導入し、普通科に体育コースや東大国立医学科コースなどがある。生徒数は1140人。校訓は「怖れず、侮らず、

気負わず」。野球のほか、柔道部やテニス部、なぎなた部も全国大会で活躍している。

野球部は57年に創部した。沖繩高時代を含め今回で春夏通算11度目の甲子園出場。99年春に県勢初制覇を達成、08年春にも優勝した。99年の優勝時にエースだった比嘉公也監督が06年に就任。現在の部員は46人。OBに東浜巨投手(ソフトバンク)・嶺井博希捕手(Den

◆県立美里工業高校 工業高校で12位。2013年度上半期の第2種電気工事士合格者は80人、うち野球部33人を含む57人が部活生だった。

琉球政府立中部産業技術学校として設立。70年に琉球政府立美里工業高校となり、72年に県立となった。機械科、電気科、建築科、設備工業科、調理科の5学科があり、生徒数は765人。校訓は「自主・敬愛・勤労」。文部両道を掲げ、昨年度の資格検定取得者は延べ907人に上り、第1種電気工事士の合格者18人は全国の

野球部は1969年に創設され、94年夏の県大会で準優勝。昨年は夏の県大会2位、秋季県大会優勝、九州大会2位と躍進した。現在の部員は80人。神谷嘉宗監督は浦添商を率いた2008年夏の甲子園で4強入り。11年に美里工へ赴任、12年から監督を務める。

○詳細はあすの紙面をお読みください

ryukyushimpo.jp

号外

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2014年(平成26年)

1月24日(金)

発行所 琉球新報社
郵便番号 〒900-8525
那覇市天久905番地
©琉球新報社2014年

美里工センバツへ

初の甲子園に闘志



選抜出場に向け気勢を上げる美里工ナイン=2013年12月11日、沖縄市泡瀬の同校グラウンド

沖尚と同時出場

第86回選抜高校野球大会(3月21日から12日間・甲子園)の出場校を決める選考委員会が24日、毎日新聞大阪本社で開かれ、沖縄尚学と美里工が出場32校に名を連ねた。沖尚は2年連続6度目の出場で、3季連続の甲子園切符をつかんだ。美里工は学校創立48年目で初めて甲子園の土を踏む。県勢の2校出場は、興南と嘉手納が出場して興南が優勝した2010年春以来、4年ぶり2度目。

沖尚と美里工は昨年の県秋季大会決勝で対戦、続く九州大会でも初の県勢決勝対決を実現した。沖尚は県大会では準優勝だったが、続く九州大会で雪辱し、秋の九州2連覇を達成。さらに全国10地区の代表校が集う明治神宮大会でも快進撃を見せ、決勝は六回まで0-8の劣勢をひっくり返す圧巻の逆転劇で県勢初の頂点に立った。

美里工は県秋季大会決勝で沖尚を延長戦の末に3-0で破って21年ぶりの優勝を飾った。九州大会は最後に1点差で涙をのんだが、初戦、準々決勝を1-0差で勝ち抜いた投手力や活発な打線など、総合力の高さを印象付けた。

選抜大会には秋季地区大会の成績を基にした一般選考29校(九州地区の神宮大会枠1を含む)と21世紀枠3校が出場。組み合わせ抽選会は3月14日に行う。

挑む 全国の頂点

夢舞台 白球追う



秋季九州大会決勝 沖尚—美里工 8回沖尚2死二、三塁、左前へ逆転の2点適時打を放つ代打の金城太希=2013年10月31日、沖縄セルラースタジアム那覇



秋季九州大会決勝 沖尚—美里工 1回1死一、三塁、先制の適時打を放つ美里工の花城航=2013年10月31日、沖縄セルラースタジアム那覇



秋季九州大会決勝 美里工—沖尚 8回美里工2死一、三塁、押し出しの適時打を放つ美里工の伊波友和=2013年10月31日、沖縄セルラースタジアム那覇



秋季九州大会決勝 美里工—沖尚 力投する美里工のエース伊波友和=2013年10月9日、沖縄セルラースタジアム那覇



秋季九州大会決勝 美里工—沖尚 力投する美里工のエース伊波友和=2013年10月9日、沖縄セルラースタジアム那覇



秋季九州大会決勝 美里工—沖尚 力投する美里工のエース伊波友和=2013年10月9日、沖縄セルラースタジアム那覇

第63回秋季大会

美里工 7-1 嘉手納
沖尚 2-0 真和志
美里工 12-2 浦添工
沖尚 10-0 宜野座
沖尚 2-0 興南
美里工 13-2 前原
沖尚 7-0 勝原
美里工 13-0 神尚
沖尚 10-0 鹿島

▽選抜までの歩み
美里工は1年ぶり度目の選抜に進出した。先鋒山城は、先鋒の山城大智が最少失点で投じた。山城大智「上位から下位まで振られて多量に、最後まで手を抜かず、持っているものを全て出した」。美里工は、先鋒の山城大智に打ち込まれた。美里工は、先鋒の山城大智に打ち込まれた。美里工は、先鋒の山城大智に打ち込まれた。

秋季九州大会

早稲田佐賀(佐賀) 1
八重山商工(沖縄) 4
指宿商(鹿児島) 1
鎮西(熊本) 9
九州国際大付(福岡) 1
波佐見(長崎) 3
杵築(大分) 9
沖繩尚学(沖縄) 1
日南学園(宮崎) 1
大分商(大分) 0
美里工(沖縄) 1
鹿島(佐賀) 0
創成館(長崎) 6
神村学園(鹿児島) 1
西日本短大付(福岡) 1
宜野座(沖縄) 1
日章学園(宮崎) 1
多良木(熊本) 1

沖繩尚学 2季ぶり3度目



秋季九州大会優勝を決める喜びを爆発させる沖尚ナイン=2013年10月31日、沖縄セルラースタジアム那覇

県勢選抜の成績

通算26勝28敗

▽第32回(1960年)	1回戦 北海(北海道) 4-1 那覇	▽第50回(1978年)	1回戦 豊見城 10-0 酒田東(山形)	3回戦 宜野座 4-3 桐光学園(神奈川)
▽第35回(1963年)	1回戦 P.L.学園(大阪) 8-0 首里	1回戦 桐生(群馬) 3-1 豊見城	2回戦 眞島(和歌山) 10-0 豊見城	準々決勝 宜野座 4-2 浪速(大阪)
▽第37回(1965年)	1回戦 岡山東商(岡山) 7-0 コザ	1回戦 印旛(千葉) 3-1 興南	1回戦 桐生(群馬) 3-1 豊見城	準決勝 仙台育英(宮城) 7-1 宜野座
▽第40回(1968年)	1回戦 高岡商(富山) 14-1 沖繩	▽第55回(1983年)	1回戦 上宮(大阪) 2-1 興南	▽第75回(2003年)
▽第41回(1969年)	2回戦 広島商(広島) 12-0 首里	▽第58回(1986年)	1回戦 上宮(大阪) 3-1 沖繩水産	2回戦 近江(滋賀) 4-3 宜野座
▽第42回(1970年)	1回戦 岐阜短大付(岐阜) 3-0 真和志	▽第64回(1992年)	1回戦 仙台育英(宮城) 18-11 眺谷	▽第77回(2005年)
▽第43回(1971年)	1回戦 普天間 3-2 弘前(青森)	▽第66回(1994年)	1回戦 高知商(高知) 6-0 那覇商	1回戦 沖繩尚学 16-3 青森山田(青森)
▽第44回(1972年)	2回戦 日大三(東京) 7-6 普天間	▽第68回(1996年)	1回戦 沖繩水産 6-3 姫路工(兵庫)	2回戦 沖繩尚学 6-1 西条(愛媛)
▽第45回(1973年)	1回戦 松江商(島根) 3-1 名護	2回戦 智弁和歌山(和歌山) 4-3 沖繩水産	1回戦 神村学園(鹿児島) 3-2 沖繩尚学	準々決勝
▽第47回(1975年)	1回戦 函館有斗(北海道) 5-0 前原	▽第69回(1997年)	1回戦 育英(兵庫) 4-2 浦添商	神村学園(鹿児島)
1回戦 豊見城 3-0 習志野(千葉)	▽第70回(1998年)	1回戦 浦和学院(埼玉) 4-2 沖繩水産	2回戦 沖繩尚学 1-0 聖光学院(福島)	▽第78回(2006年)
2回戦 豊見城 4-2 日大山形(山形)	▽第71回(1999年)	1回戦 沖繩尚学 1-0 比叡山(滋賀)	3回戦 沖繩尚学 3-1 明德義塾(高知)	1回戦 八重山商工 5-2 高岡商(富山)
準々決勝 東海大相模(神奈川) 2-1 豊見城	1回戦 沖繩尚学 5-3 浜田(島根)	準々決勝 沖繩尚学 4-2 市川(山梨)	準々決勝 沖繩尚学 4-2 天理(奈良)	2回戦 横浜(神奈川) 7-6 八重山商工
▽第48回(1976年)	1回戦 土佐(高知) 4-3 豊見城	決勝 沖繩尚学 7-2 水戸商(茨城)	決勝 沖繩尚学 9-0 聖望学園(埼玉)	▽第80回(2008年)
▽第49回(1977年)	1回戦 豊見城 4-3 豊見城	▽第73回(2001年)	2回戦 宜野座 7-2 岐阜第一(岐阜)	1回戦 沖繩尚学 1-0 聖光学院(福島)

沖尚 センバツ決定

2年連続 6度目



2年連続出場に向け健闘を誓う沖尚ナイン=2013年12月3日、八重瀬町の尚学ボールパーク

県勢 2校出場 4年ぶり

美里工 学校沿革

沖尚 学校沿革

◆**県立美里工業高校** (沖縄市泡瀬5の42の2)
 1967(昭和42)年に琉球政府立中部産業技術学校として設立。70年に琉球政府立美里工業高校となり、72年に県立となった。機械科、電気科、建築科、設備工業科、調理科の5学科があり、生徒数は765人。校訓は「自主・敬愛・勤労」。文部両道省を掲げ、昨年度の資格検定取得者は延べ907人に上り、第1種電気工事士の合格者18人は全国の工業高校で12位。2013年度上半期の第2種電気工事士合格者は80人、うち野球部33人を含む57人が部活生だった。

野球部は1969年に創設され、94年夏の県大会で準優勝。昨年は夏の県大会2位、秋季県大会優勝、九州大会2位と躍進した。現在の部員は80人。神谷嘉宗監督は浦添商を率いた2008年夏の甲子園で4強入り。11年に美里工へ赴任、12年から監督を務める。

◆**沖繩尚学高校**(那覇市国場747) 1957(昭和32)年に開校した嘉数学園沖繩高校が前身で、83年に沖繩尚学高校として新たにスタートした。86年には付属中学校を設立、91年に嘉数学園から分離独立して学校法人尚学学園となった。高校は2001年からコース制を導入し、普通科に体育コースや東大国公立医学科コースなどがある。生徒数は1140人。校訓は「怖れず、侮らず、A」らがる。

野球部は57年に創部した。沖繩高時代を含め今回で春夏通算11度目の甲子園出場。99年春に県勢初制覇を達成、08年春にも優勝した。99年の優勝時にエースだった比嘉公也監督が06年に就任。現在の部員は46人。OBに東浜巨投手(ソフトバンク)嶺井博希捕手(Denon)らがいる。

○詳細はあすの紙面をお読みください

○ ryukyushimpo.jp